



出水小学校 学校だより

そったく き
啐啄の機 R7 No. 2

令和7年5月2日（金）

熊本市立出水小学校

校長：横山 幸生

出水小学校の合言葉 「聴き合い・学び合い・支え合い」

4月9日に始業式を、4月11日に入学式を行い、令和7年度の出水小学校がスタートしました。新しい学年を迎え、子どもたちはみんなやる気にあふれているようです。始業式では次のような話をしました。

みなさんには夢がありますか。学校はみなさんが夢をかなえられるように、自分を伸ばすところです。そして、まだ夢がみつかっていないという人は、夢を見つけるところです。そのために、みんなは毎日学校に来ているのですよ。これから、一人一人が夢を見つけ、夢を育てるためにみんなに大切してほしいこととお話します。それは3つの「合い」を大切にしましょうということです。

一つ目は「聴き合い」です。この聴くという漢字は少し難しいですが、これは耳だけで聞くのではなく、目と耳と心で聴くという意味です。つまり、相手の言っていることだけではなく、言葉にならない、思いまで分かろうとするということです。お互いに相手の思いや考えを受け止め合えるような、優しい心を育てていきましょう。

二つ目は「学び合い」です。学校は一人で勉強する場ではありません。みんなで学び合う場です。自分だけができた、分かったで満足するのではなく、自分が分かっていること、できていることがあったら、困っている友達を支えてあげましょう。また、分からなかったり、できなかったりすることがあったら、一人で悩まないで「分からない」「これどうするの」と遠慮なく友達にお尋ねをしましょう。きっと「分かるように」「できるように」力になってくれますよ。そうやって、みんなで伸びていきましょう。

三つ目は「支え合い」です。きっとみんなは目の前に困っている友達がいたら、優しく手を差し伸べてくれるでしょう。でも、目の前に困っている人がいなくても、「支え合い」はできます。それは、当番の仕事をがんばったり、落ちているゴミを拾ったり、トイレのスリッパをならべたり、掃除をがんばったりして、目の前に困った人がいなくても、それをやることで誰かが助かることを行うということです。人は一人では生きることにはできません。みんなも見えない所で誰かに助けられています。だから、見えない人のことを思い、その人を支える人になってほしいと思います。そして、みんながみんなを支え合う思いやりある学校にしていきたいと思います。

みんなで「聴き合い、学び合い、支え合い」で「愛」があふれる、すてきな出水小学校を創っていきましょう。

学校は子どもたちの夢を育む場です。そのみならず、子どもたちとのかかわりを通して、保護者、地域の方々、職員の夢を育む場でもあると思います。夢は一人でかなえることはできません。多様な他者との「聴き合い、学び合い、支え合い」が必要です。子ども、保護者、地域、職員が「チーム出水」として一致団結して協働することが大切だと思います。子どもも大人も、互いの夢を育み合い、一人一人の笑顔が輝く学校を共に創っていこうではありませんか。どうぞ保護者、地域の皆様方も子どもや職員と「同じチームの一員」として、出水小学校の教育にご支援とご協力をお願いいたします。